

ありがとう3年生

涙の別れ。学びの舎を旅立つとき

翌 檜 新 聞



志 寛 録

第5号
2019.3.25
第73代
伊敷中学生徒会



卒業式

3月13日(水)第72回卒業式が伊敷中学校体育館で行われ、卒業生221名が伊敷中を旅立ちました。呼名されて、大きな声で返事をする姿や涙を浮かべながら歌う卒業記念合唱など、三年生の集大成を感じるものでした。

送辞では、生徒会長の亀田周杜くんが「If you dream it, you can do it! (夢があれば必ずそれを実現できる)」という言葉とともに三年生への感謝の気持ちも伝えました。また、答辞では、前生徒会長の瀬戸口裕矢くんが三年間を振り返り、涙ながらに同級生や先生方、保護者への感謝の言

葉を述べました。三年生が卒業して、皆さんの中にも寂しさを感じている人が多いことでしょう。それは三年生の先輩方がそれだけ偉大だったということです。先輩方の思いを私たち後輩がしっかりと引き継いでいきましょう。
(吉屋里紅)



感動の卒業記念合唱(上)、思いを語る生徒会長(左下)、退場する卒業生(右下)



物をそろえる、心をそろえる。

一年ソシオドラマ

2月26日(火)、一年生のソシオドラマが行われました。テーマは「そろえるということ」。トイレのスリッパ、傘など身近なところをそろえることの大切さを訴えました。

ソシオドラマに出演した一年一組の上園亜美さんは、「縁学年の課題である傘やスリッパをそろえるということをソシオドラマにした。そろえるということの大切さを知り、一人一人の意識で改善してほしいと思いが練習に取り組んだ。ただそろえるのではなく、次の人のために思いやりの心を持ってそろえてほしい。」



ソシオドラマを演じる一年生

と話していました。

「そろえるのはめんどくさいな。」と思う人もいるかもしれない。でも、このソシオドラマのようにほんの少しの思いやりの心をもって傘やスリッパをそろえましょう。そうすることでみんなの心がそろえるとうです。
(宮ノ前那海)

ネットトラブルから身を守る

保健教室

2月28日(木)5時間目一、二年生合同で保健教室が行われました。「SNSとの付き合い方」について、伊敷中学校のスクールカウンセラー、平田祐太郎先生がお話してくださいました。

組の前野飛来君は、「SNSは、見えない相手と簡単にやり取りできて便利だが、気をつけたいといけないことも多いと思った。」と感想を述べていました。

講話の中ではSNS上のやり取りについての問題が出され、何気ない投稿の裏で悩んでいる人がいるということを教えていただきました。講話を聴いた一年五

二人に一人の中学生が、スマートフォンを持っていくといわれる今の時代、その正しい使い方を考えていかなければなりません。また、一日平均120・5分使用しているという現状を皆さんはどう感じましたか。
(牟禮こころ)

生徒会の窓

みなさんは「インプット」、「アウトプット」という言葉を聞いたことがありますか。「インプット」は経験や体験をした上で自分に身に付けることを言います。「アウトプット」はその経験を生かし、成果や実績を残すことを言います。

これらを学校行事に置き換えてみましょう。例えば、体育大会を経験し、団結力を身に付けました。それは体育大会を経験し、団結力を身に付けたということなので、「インプット」です。そして、身に付けた団結力を普段の学校生活の中で生かす。それが「アウトプット」です。おそらく、皆さんも自然とできていることでしょう。さらに、それを意識して行ってみるとどうでしょうか。

それは、生徒会活動にも当てはまります。私たちは先輩たちが生徒会活動をする姿を見ました。それは生徒会活動を「インプット」してきたということでもあります。でも「インプット」したままではもったいないです。自分の中に「インプット」したものを「アウトプット」していくことが必要です。昨年度よりもよりレベルの高い生徒会活動を目指して、「インプット」したものを「アウトプット」していくことを意識していきましょう。
(亀田周杜)

特集 きれいな学校を極める！美化部からの気づき

掃除棚

第三回目の今回は「掃除棚」です。皆さんは自分のクラスの掃除棚の状況を知っていますか。自分のクラスの掃除棚はきれいに整理されていますか。

先日、各クラスの掃除棚を見せてもらいました。



教室掃除リーダーの二人との対談の様子

ほうきが並んでいなかったり、ちりとりが投げ込んであったりしているというところが現状です。そんなきれいに整った掃除棚であったのが、一年五組と二年五組です。両クラス教室掃除のリーダーである田之上敏基くん（一年五組）と浅松啓輔くん（二年五組）に話を聞きました。

二人は初めに「掃除棚は、きれいにするのが当たり前でそんなに意識していません。」と話してくれました。

しかし、最初からきれいに整っていたわけではないようです。教室掃除の気が付いた人が整えていくことでみんなに呼び掛けなくとも全員が意識するようになった

たと二人共話していました。

他のクラスの掃除棚も綺麗にするために、どのようなことをしていくべきかと聞く。「気が付いた人が正す」ということを続けることと「きれいに保つことができる」とアドバイスをくれました。

私は今回この二人にインタビューをして気が付いたことがあります。それは一人の気が付きがみんなの意識を変えていくということです。

私は今まで全員が同じように意識をもたないと何も変わらないかと思っていました。しかし、二人の話を聞いて一人の気が付きでみんなの意識まで変えることができると感じました。

だから、「みんながしてくれないから自分もしない。」ではなく自分だけでも行動していきましょ。

あなたの気が付きがみんなを変えるきっかけになるかもしれません。

（入来夏風）

一人一人の思いが集まる！奉仕活動

2月22日（水）一、三年生は奉仕活動がありました。今回の奉仕活動はベルマークの集計でした。どのクラスも集中して効率よく活動ができたのではないのでしょうか。

前回は、「ベルマークの活用方法」について考えました。今回は2月7日～15日の間に回収したベルマークの「集計」でした。今年度もベルマーク回収に御協力いただき、ありがとうございました。また、来年度も御協力よろしくお願いたします。

（東遼太郎）



ベルマークを集計する一年生

幸せは自分で引き寄せる

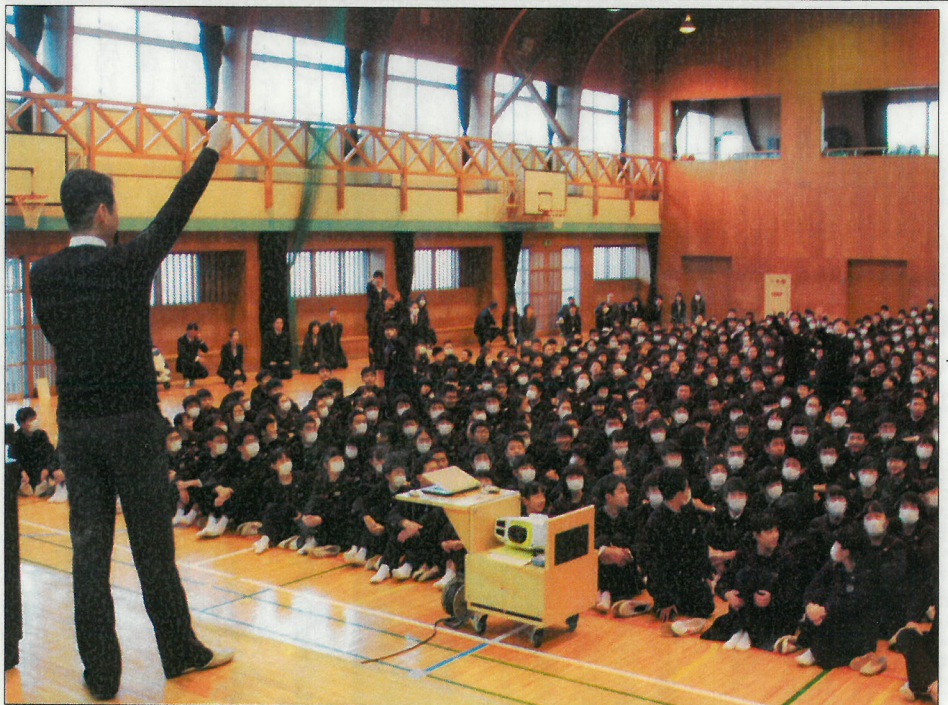
校長先生のお話

2月12日（火）の全校朝会は「校長先生のお話」でした。校長先生が私たちに伝えてくださったのは「幸せは自分で引き寄せる。」ということだったので、なにかと思います。

校長先生は、演台の前に立ち、私たちと「じゃんけんゲーム」をしました。じゃんけんゲームのルールは「勝ったものすごく喜ぶ。」というもの。そして、その後「どんな結果でも、ものすごく喜ぶ。」というルールが付け加わり、全校生徒、そして、先生方、体育館にいる全員でじゃんけんをしました。伊敷中生は、拳を突き出し、やる気にあふれており、生徒全員が大盛り上がりでした。



楽しくじゃんけんする二年生



公立高校入試と同じ日程で実施されます。今年度、最後のテストであり、今の学年で学習したことを総復習することができ、貴重な機会です。皆さんは自分の納得する結果を出すことができましたか。いよいよ、今年度が終わります。今年度学んだことは今年度のうちに理解できるように、春休みの学習の仕方を考えましょう。

（田島悠太郎）

編集後記

明日から春休みに入ります。春休みは、次の学年の準備期間となります。新学期に向けて、学習面や生活面、しっかりと準備をしましょう。

また、3月28日（木）には辞任式が行われます。お世話になった先生方への感謝の気持ちは、言葉だけでなく、身なりや話を聴く態度、校歌斉唱の歌声など、行動でも表し、気持ちを込めた式を全員で作っていきましょう。

翌檜新聞は今回で五号目になります。来年度も皆さんにたくさんのお気持ちを届ける新聞を目指していきたいと思っております。これからもよろしくお願いたします。

（安藤綜悟）

学年最後のテスト

3月6・7日の二日間で、今年も実力テストが行われました。このテストは例年

ます。しかし、集団で学校生活を送る中では、嬉しいことばかりではなく、辛いことや我慢しなければならぬこともあります。そんな中でも自分がどのように気持ちをもっていくかで、幸せかそうでないかが決まるといえることを校長先生は私たちに伝えてくださったのではないのでしょうか。

明るい言葉を使い、明るい表情でいる人はきっと自分でも幸せを引き寄せることができるのだと思います。学年全員、学年全員、伊